

TACとは？

TACの 原点

希薄となった担い手農家との接点を結ぶため、
数字(ノルマ)を背負わずに担い手の話を聴きに行くことを専任業務
 とする**担当者**であること。(「物売り」ではない)
TACに最低限必要なスキルは、
「話をきちんと聴けること」、「得た情報を確実につなげること」

意味

Team for Agricultural Coordination
 単協・連合会が一体(チーム)となって地域農業をコーディネートする。

役割

- 地域農業の担い手に訪問してご意見・ご要望をうかがい、誠実に応える。
- 地域農業の担い手の経営に役立つ各種情報をお届けする。
- 地域農業の担い手のご意見を持ち帰り、JAグループの業務改善につなげる。

マーク

地域農業の担い手とTACが対話・相談する姿、
 そしてその対話から生まれる課題解決やヒラメキをデザイン



キャッチ コピー

Tとことん、**A**会って、**C**コミュニケーション!!

11

活動項目	全国	北海道	東北	関東・ 甲信越	東海・ 北陸	近畿	中国・ 四国	九州・ 沖縄
全JA数 ①	659 (679)	108 (108)	68 (80)	164 (170)	101 (102)	58 (58)	81 (81)	79 (80)
TACシステム入力 JA数 ②	264 (278)	2 (4)	53 (64)	83 (82)	37 (42)	25 (26)	43 (40)	21 (20)
活動普及率(%) ②/①	40 (41)	2 (4)	78 (80)	51 (48)	37 (41)	43 (45)	53 (49)	27 (25)
TACシステム入力 TAC数	1,741 (1,762)	31 (24)	355 (312)	556 (563)	235 (302)	181 (192)	227 (228)	156 (141)
訪問担い手数 (千人)	81 (88)	1 (1)	18 (19)	27 (28)	7 (10)	13 (13)	7 (8)	9 (9)
担い手面談数 (千件)	663 (738)	6 (11)	106 (111)	222 (231)	118 (162)	94 (97)	53 (56)	64 (70)

※JA数①:平成28年4月1日現在のJA数 ※括弧内は前年度